第7回定例委員会会議録

- 教 育 長) 開会宣言
- 教 育 長) 会議成立の宣言
- 教 育 長) 会議録署名委員の指名（三宅委員）
- 教 育 長) ここでお諮りいたします。

日程第2、報告第4号「令和7年度教育委員会関係補正予算について」及び報告第5号「財産の取得について（GIGA第2期 学習者用及び指導者用端末）について」は、市議会提出議案のため、非公開で行いたいと思いますが、御異議ございませんか。

〈異議なしの声〉

御異議なしと認め、そのように決定いたします。

それでは、審議に入ります。

はじめに、日程第1、第9号議案「令和8年度使用芦屋市立義務教育諸学校教科用図書の採択について」を議題とします。

本議案については、先の4月17日に開催した教育委員会第1回定例会において、採択に関する基本方針について、議決しているところです。

その基本方針に基づき、小学校用教科用図書については、令和5年度に採択したもの、中学校用教科用図書については、令和6年度に採択したものと同一の教科書を採択することを決定しておりますので、本日の会議においては、一般図書について協議を進めていきたいと思っております。

まず、再度の確認となりますが、小学校用教科用図書及び中

学校用教科用図書について、現在使用している教科書を継続して使用することで問題は無いと考えますが、皆さんよろしいでしょうか。

〈異議なしの声〉

ありがとうございます。

それでは、小学校用教科用図書及び中学校用教科用図書については、来年度も本年と同じ教科書を使用することとします。

次に、特別支援学級で使用する教科用図書について、協議を行います。

一般図書について事務局から説明をお願いします。

学校教育課長) 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) ただいまの事務局からの説明について、ご質問やご意見はありませんか。

河 盛 委 員) ひょっとしたら前にも聞いたかもしれないのですが、個々の障がいや発達程度について、それぞれ選ぶのではないかと思うのですが、一つは教科書の代わりにすることだと思ってしまうのですが、教科と違って、これがどの分野に入っていると判定するのはなかなか難しいと思うのですが、1人につき、一体何冊ぐらい購入するのかと、その人にどれが適しているかと判定するのは、どなたが判定し、それはいつ決めるのでしょうか。

学校教育課長) 1教科1冊と決められています。この判定については担任の、いわゆる学級の先生が主になるのですが、その上で特別支援の学級担当が集まって、これでいいかどうかという判断をしていきます。

この教科書のことについては、この後、この夏の間、来年

度、どこの教科書を使用するのかという報告を上げないといけませんので、一旦、そこでは考えるのですが、ただその後、どういうことが起きるかということは気にしながら、最終的には3月に通常の教科書と同じように注文をする流れになっております。

河盛委員) 何人かおられると思うのですが、ある程度、共通したものを選ばれるのか、一人一人、全然違うものを選ばれるのか、その辺はどうでしょうか。

学校教育課長) 一人一人、ばらばらが多いと思います。ただ、興味を持たれるような一般図書のつくりをしているものですので、これまでの特別支援の先生の経験等を踏まえながら、このほうがこの子たちに合っているだろうと考えていると聞いています。

河盛委員) 特に、保護者と話し合うことはないですか。

学校教育課長) 保護者とは教科書をどうというわけではなく、この子に対して、どういう育ち、これからどのようなカリキュラムを考えていくのかというお話をする中で、その場合に担任の先生がこういう教科書を使用したらという話をすると聞いております。

極楽地委員) 先ほど、弱視の児童・生徒の方がいらっしゃって、拡大教科書があるとお伺いしまして、今回、選定の300冊ぐらいですが、来年度、在席される児童・生徒の方や入学される児童・生徒の方、全ての方に網羅されるような内容で御準備されるということによろしいでしょうか。

学校教育課長) 委員のおっしゃるとおりです。

極楽地委員) もし、万が一、入学の新児童・生徒の方で、特別な障がいの方がいらっしゃった場合には、また別のものを追加という可

能性はないのでしょうか。

学校教育課長) 来年度については、別のものを追加はすることができない
ものですから、今現状、301冊プラス拡大教科書を使用する
ことになります。

極楽地委員) その中で最適な物を選定されて、お一人お一人に御提供さ
れるということで、承知いたしました。

学校教育課長) もしよろしかったら、見ていただければ

教 育 長) 一度見ていただきましょうか。

<一般図書閲覧>

教 育 長) 他に質疑はございませんか。

一般図書の採択について各委員よりご意見、ご感想をお聞か
せください。

教 育 長) それでは、採択に移ります。

一般図書は、別添資料の301点および拡大教科書を採択す
ることに御異議ございませんか。

<異議なしの声>

御異議なしと認めます。

よって、一般図書は、別添資料の301点および拡大教科書
を採択します。

<第9号議案採決。結果、可決（出席委員全員賛成）>

教 育 長) ただいまから非公開で審議いたしますので、傍聴者は退席
願います。

<非公開審議>

教 育 長) 次に、日程第2、報告第4号「令和7年度教育委員会関係
補正予算について」を議題とします。提案説明を求めます。

管理課長) <議案資料に基づき概略説明>

教育長) 説明が終わりました。質疑はございませんか。

極楽地委員) 給食費の補正についてお伺いしたいのですが、この前の給食展、本当に芦屋の給食のすばらしさを改めて感じた機会になりました。このまま芦屋の給食の質の担保、安全性の担保が続けばいいなと願っています。

1点確認で、補正予算ではなくて、この316円、367円という金額ですが、栄養士さんだったり、あとは保護者の方も芦屋の給食を値段はどうよりも、しっかりといいものを提供してほしいという思いが強いと思うのですが、どのような御意見が上がっているか、本当にこの金額で質が担保できるのか、どういう御意見を持っているのかお伺いしてもよろしいでしょうか。

保健安全・特別支援教育課長) まず、保護者につきましては、第1回学校運営連絡協議会において、本当に310円、360円で賄うことが1年間でできますかという心配のお声を頂戴しているところです。委員がおっしゃるように、やはり質の担保を第一に考えていただきたいという意見が大勢でございました。

今回、値上げに当たりまして、各校の栄養士からヒアリングをさせていただきましたことを幾つか紹介させていただきたいと存じます。

各校において、昨年度のような物価高騰を見越して、既に食材の価格が低いものを使って給食の献立を立案している学校が大半でございます。

例えば、牛肉や加工品といったものは価格が高いため、ハム

や鶏もも肉を使用する。魚においても、やはりサバ、ハタハタ、ワカサギといった低価のもの、野菜はエノキを使うなど。また、一番各校で多いのが、果物が、まだ今の段階ではつけることができないということです。

今現在で何とかやりくりはしているが、これ以上進むと相当厳しいという意見が大勢でございます。

以上です。

極楽地委員) 栄養士さんのお話を聞いていても、本当に厳しいということ、御苦勞をいただいて、御努力いただいていることをすごく感じています。今おっしゃるように、低価格の食材をお使いいただいたり、工夫いただいているのですが、質の担保について、保護者だったり、多分、適正価格委員会等でもお話があったと思うのですが、値段が少し上がっても子どもたちにいいものを食べさせてあげたいという思いが強いと思いますので、本当に訂正な価格というか、芦屋の給食の質を維持できるように、栄養士さんがまた苦勞せずに行えるような金額を、これからも提供いただければと思います。よろしく願いいたします。

河盛委員) この補正予算の概要を見ると、国と県から財源が来ているのは、補正額の番号の①から⑥までに、②番と③番が国と県から来ているのですが、これは個々にこれだけというか、向こうから指定して来ているのか、総額として来ていて、具体的に分けられているのは芦屋市が決められているのか、その辺はどうでしょうか。

管理課長) この表の見方ですが、「国・県」と書いてございますのは、国から来ている、県から来ているということでございます、

重点支援地方交付金につきましては100%国から来ているとな
ってございます。

今回、それぞれの自治体に上限額を国が定められまして、本
市であれば2,200万円程度という上限額が示されておしま
したので、国が示しているメニューの中で、適切な部分につい
て、それぞれのところからピックアップした結果、2,200
万円程度の交付金を芦屋市が使わせていただいたということで。

河盛委員) 内訳自体は、配分は芦屋市が決められたということですか。
それぞれに対する。ちょっとずつ違いますよね。子ども食堂に
対する支援や保育所等への支援。どちらも全部、主に食費です
が、全く同じパーセントでやっているのですか。何か考えがあ
るのですか。

管理課長) 上限が定められますので、その範囲内ということですので、
優先順位をつけて、優先度が高い部分については、できる
だけ満額に近い金額を充当することになります。どちらかと言
いますと、教育委員会の関係は、今回は光熱費の高騰の部分に
ついての財源更正については、優先順位が低いことになります
ので、金額が少なくなったところでございます。

河盛委員) 食費については、別に一律にパーセントでやったわけでは
ないということですね。重点政策のうちの最初の3つは全部食
費関係ですね。子ども食堂や私立保育所や学校給食など、全部
食費ですが、これは同じパーセンテージで補助しているのでは
なくて、何かお考えで分けられているということでしょうか。

管理課長) そうです。割合としてはばらばらでございまして、例えば
国が推奨しているメニューであれば、学校給食費に充てること

もできます。民間の保育所等の光熱費についても重点的に配分できると、一定メニューを示されておりますので、その中で優先順位をつけて、配分しているところでございます。

極楽地委員) 「既存事業への充当(財源更正)」の市立の就学前施設などへの光熱費の高騰分の充当ですが、これは市立の幼稚園、市立の保育所で、認可保育所や、就学前の民間への充当は特にないということよろしいでしょうか。

管理課長) 例えば、既存事業への充当につきましては、公立の施設に対しての財源更正ですので、公立の幼稚園であったり、公立の認定こども園であったり、市が光熱費を払っているところについて、国費で置き換えるところでございます。

極楽地委員) 私立の民間は対象外ですね。

管理課長) 私立の分につきましては、③「私立保育所等に対する物価高騰対策支援事業に要する経費」で担保しているところでございます。

極楽地委員) 教育費ではなく、民生費で上げられるということですか。

管理課長) そうです。

極楽地委員) ありがとうございます。

教育長) 他に質疑はございませんか。

無いようですので、これをもって質疑を打ち切ります。

<異議なしの声>

それでは、報告第4号「令和7年度教育委員会関係補正予算について」の報告を受けたものといたします。

教育長) 次に、日程第2、報告第5号「財産の取得について(G I G A第2期 学習者用及び指導者用端末)」を議題とします。

提案説明を求めます。

打出教育文化センター所長) <議案資料に基づき概略説明>

教 育 長) 説明が終わりました。質疑はございませんか。

極 楽 地 委 員) キーボードについてですが、この前、拝見した規格のものが、今回通る可能性が高いという認識でよろしいでしょうか。

打出教育文化センター所長) 議会の議決を待ってですが、一応、仮契約までは進んでいます。

極 楽 地 委 員) よかったです。壊れるリスクがあるものよりも、軽くて使
いやしくて壊れにくいことが一番ベストだと思いますので、こ
ちらで通ることを願っています。

金額のところ、先ほど5万5,000円で、110円オー
バーするということによろしいでしょうか。

打出教育文化センター所長) はい、そうなります。

極 楽 地 委 員) 間違いありませんね。1台について約110円掛ける6,
139台プラスの金額が物品調達品として、ここが増えるとい
うことで承知いたしました。

打出教育文化センター所長) はい。

極 楽 地 委 員) 前もお伺いしたかもしれませんが、調達台数ですが、6,
139台、今回予定で、前回は何台調達されたのか台数を教え
ていただけますでしょうか。

打出教育文化センター所長) すみません、その数字は持ち合わせてないです。

極 楽 地 委 員) 減る感じでしょうか。

打出教育文化センター所長) はい、減ってきてはいます。

極 楽 地 委 員) そうですね、子どもの人数に対してですね。

打出教育文化センター所長) はい。

極楽地委員) 分かりました。ありがとうございます。

森川委員) 調達台数の予備機の台数が40台となっていますが、ちょっと少ないのかなという印象を持ったのですが、予備機は壊れた場合に提供される機械と思っていたのですが、小学校、中学校を合わせた5,700台ぐらいと、指導者用端末も合わせれば6,000台超に対して、40台は少ないような気もしたのですが、その点はいかがでしょうか。

打出教育文化センター所長) 今後、児童・生徒数の減少が見込まれておりまして、一応、我々の試算では、1年ごとにざっくりと200名ずつ減少していくのではないかと考えております。

ですから、今年度の1月に更新をしまして、1月、2月、3月は予備機40台で何とか耐えていく形になるのですが、4月になると余ってくる。だから、余ってきたものを予備機という形に待機させて、使っていくと考えております。ですからあまり予備機をたくさん用意するのは賢明ではないと判断をして、この数字になっております。

森川委員) 今回のiPadの仕様ですが、3ページ、ストレージ128ギガバイト以上となっているのですが、現行は32ギガバイトなのかと思うのですが、かなり容量がアップしているのは、やはり原稿現行の容量では足りないといったことからでしょうか。

打出教育文化センター所長) これは一定、そもそも県の共同調達をするに当たっての基本調達となるものを、そのままスライドさせているところがあります。

あとは、年々必要なストレージなども増えてきていると思い

ますので、一定、これが妥当な数字だと判断しています。

森川委員) 県だと64ギガバイト以上という仕様書を見たのですが、128にされているのは、将来に使用量が増えることも見越しでされた、そういう感じでしょうか。

打出教育文化センター所長) そうですね。一応、我々としては県を参考にして、あと市として必要な値という考えでおるところですが。64がありましたか。

森川委員) 事前にいただいた資料だと、64と書いてあったと思うのですが。

教育長) 第10世代の。

森川委員) そうですね。

教育長) 「以上」だから、いいのですかね。

森川委員) そうですね。いいのでしょうかね。

教育長) 最近は、端末によって最低ラインのギガ数が上がる傾向にあります。

森川委員) 調達金額が上がったりして。その辺の、どういう関係性があるのかと思ったもので。

打出教育文化センター所長) 途中で第10世代から11世代に仕様変革がありまして、第10世代のものを業者さんの関係で準備ができない。11世代に上げてもらいたいという話がプロポーザルの途中でありました。そうすると、さっき言っていたいただいたストレージ等も上がったものが出てきまして。

こちらとしては、上がったものが金額の中で収まるのであれば望ましいことではありますし、実際、その前の世代のものが準備できないと聞いておりましたので、仕様変更が途中になっ

て覚書も交わしながらという形で、今回、芦屋市の仕様書になっているという流れがあります。

森川委員) ありがとうございます、分かりました。

極楽地委員) 入れ換えに向けて、3月までにキッティング等を済ませるために、11月以降始まると思うのですが、今、児童・生徒が持っているタブレットが交換になっていくと思うのですが、前も伺ったと思うのですが、データについてはクラウドに、データを子どもたちがアップということでバックアップしておく、保護者の方がバックアップしておくという認識でよろしいでしょうか。

打出教育文化センター所長) そこに関しましては、必要に応じて、子どもに応じてという形で、今の形でデータを復旧することは可能かと。

極楽地委員) 恐らく、子どもたちは、その辺がちょっと話題になりそうな感じなので、できるだけ早めにこちらがバックアップの仕方等々についてのアナウンスを学校からされたほうがいいと思いますので。年明けて、この方向性はアナウンスをいただきたいというお願いになります。よろしくお願いします。

打出教育文化センター所長) ありがとうございます。

教育長) 例年、どこかでバックアップしてませんでしたか。そういうことはなかったでしょうか。

打出教育文化センター所長) 春先に学習用端末の貸与について、毎年冊子を配っておりまして、今年度から電子での配布をしておりますが、そういったデータの保存のことについても触れては、毎年います。ただ、委員おっしゃるように、今回更新をして、実際に物が代わるわけなので、再度、周知をすることを含めて検討したいと思いま

す。

極楽地委員) 知らなかったと、お手紙が手元に届かなかったという御家庭も多いので。

教育長) アカウントに入れておいて、そこから引き出すということですね。

極楽地委員) そうですね。本当に毎年データを入れっ放しなので、それが引き継がれているので、バックアップせずに交換になってしまったという御意見がおそらく後で出てくると思うので。何度も重ねてお伝えいただくほうが、逆に安心かなと思います。

教育長) 丁寧ですね、伝えておくほうが。

極楽地委員) データを結構大事にしているお子さんも多いので。お願いいたします。

森川委員) 今、使っていただいている端末は、入れ換えた後はどういう扱いになるのでしょうか。

打出教育文化センター所長) i P a dについては、資産価値というか、処分をする際に完全に処分やお金をかけて処分よりは、逆に、まだ業者さんが再利用などに当てることができますので。

教育長) 買取りですね。

打出教育文化センター所長) 買取りということが可能だとは聞いております。計画では、今年度中に回収したものを業者さんにお渡しして、歳入としていただく準備をしているところです。

森川委員) 今はリースでしたか。

打出教育文化センター所長) 買取りです。

森川委員) それを、また買い取るという、すみません、分からないです。

学校教育担当部長) 買い取ってもらう。

打出教育文化センター所長) こちらとしては売却するという形を取ります。

森川委員) まだ使えそうな気がするのですが、第8世代ですかね、売却するとなると、売却価格が結構安くなる気もしなくもなくて。何か使い道などはないですかね。

打出教育文化センター所長) そうですね。いろいろ市町の状況に応じて、今回、更新した、引き上げたものの利用の仕方はあると思うのですが、いいか悪いかは別にしても、一旦、更新したものを、4月から子ども数が大分減るので、逆にどんどん新しいものが余ってくるようになってきます。

使わない状態で、充電もしない状態がずっと続くと、逆に新しいのにiPadが使えなくなってしまうという話も聞いておりますので、今度、我々としては逆に4月以降、毎年200ずつ余ってくる予備機をどのように管理して、子どもたちが使っている、あるいは先生方が使っているものが、ちょっと不具合が出たときにぱっと更新できる状況をどうやってつくるか、完全に整理できているわけではないのですが、むしろそっちのほうに力点を置かないといけないなという認識を持っています。

森川委員) 分かりました、ありがとうございます。

極楽地委員) 棚卸が大変そうだなと思うので、いいシステム、校務支援システムも導入されましたので、管理方法については、各校園で共通化の方法をご検討なされたほうがいいと思います。台数も多いですし、先生方も毎年異動されると思うので。

キッティングについて、何度もお伝えしていますが、今回は日本電通株式会社さんで、キッティング込みで5万5,110

円内に収まるということをお伺いいたしまして、安心しております。当初はうちぶんの職員さんや、行政の方が皆さん手分けしてキッティングというお話がありましたので。それが、本当に予算内で収まったことはいいことかなと思っていますので、こちらが通ることを願っています。

今後についても、キッティング関係は外部委託でお任せしていったほうが私はいいと思います。更新の際は、その都度、そういった専門業者様にお任せするようお願いできればと思います。よろしくお願ひいたします。

打出教育文化センター所長) 委員にはそのことを気にしていただいでいて、本当にありがたいです。前回のタブレット導入のときには、おっしゃるとおり教育委員会指導主事が総出で、打文が中心となりましたが、テプラを貼る作業であるとか、段ボールから出す作業を担わなければならなかったのですが、今回は業者さんのほうで各学校のところまでは運んでいただける。だから、そこから子どもが手にすると、基本的には電源を押せば使える状況にまで持って行っていただけると。

110円、余分に出ているところに関しましては、予算の中でうまく対応できる。市としてもそれを認めていただいでおりますので、今言っていただいた方法で進めたいと思っております。

極楽地委員) よかったです。よろしくお願ひします。

教 育 長) 他に質疑はございませんか。

無いようですので、これをもって質疑を打切ります。

<異議なしの声>

それでは、報告第5号「財産の取得について」の報告を受けたものといたします。

教 育 長) 非公開での審議は終了いたしましたので、これより公開いたします。

〈非公開審議 終了〉

教 育 長) 閉会宣言